

温かい気遣いの輪

橘中学校 三年 磯 凜桜

皆さんは電車やバス等の公共交通機関を利用した事がありますか。私は習い事をしていて、その場所に行くために週に1回ほど公共交通機関を利用しています。電車やバスの中でちょっとした事件が起こる事も少なく無いですが、人との関わりの中で自分が思うように動けずに悩んでしまう事や人の心の温かさを感じるような場面があります。

ある日私はバスで優先席に座っていました。その日の車内は混雑し、ほぼ満席、席を立って移動する事もなかなか難しい状況でした。そんな中4人の人が乗って来ました。私は車に酔ってしまい、ただただ窓の外をながめて気を紛らわしていました。その時乗って来た1人の男性から席を換わってくれと言われました。突然の事で理解が追いつかなかったのですが、先程乗車した4人の方はお年寄りの方達で、声をかけた男性はその中の1人の女性を席に着かせようとしていたのです。やっと様子を理解する事ができた私は席を換わろうとしましたが、女性が大丈夫と辞退されたので結局、私はその席に座ったままでした。他の優先席に座っていた大人は誰も動かずスマートフォンを見ていました。これまでも学校等でこのような場合は席を譲るものと教えてもらっていましたが私は譲る事ができないままでした。未だに最初から席を譲るべきだったのではないかと悩んでいます。後で悩むぐらいなら最初から譲ればいいと思われてしまうかもしれません、急に地震が来た場合に速やかに避難ができるのは日々訓練をしているからです。日本が地震大国ではなく、日々訓練をしていなければスムーズに避難する事は難しいと思います。同じように人は突発的な事には弱く、上手に対応ができないのだと思います。

また、別の場面でバスに乗った時の事です。普段使えるICカード読み取り機がエラーを起こし、壊れていました。運転手の方はタッチせずお乗りくださいと言い、私はそのまま乗車しました。終点に着き全員が降りるにあたり、運転手の方は「そのままお降り下さい」と言われました。つまり、乗車していた二十人弱の代金を払わずに降りても良いという事になるのです。その対応に対して言葉で感謝を伝える人、会釈をしながら降りる人たちがいました。私も感謝をしながら降りました。そのバスは他の駅にも行くので読み取り機が壊れたままなら会社の損失は大きいでしょう。会社からの指示かもしれませんが、私はその運転手さんの判断と行動がすごいと思いました。他にも、電車で転がるペットボト

ルを拾い持ち主に返す人がいたり、車椅子で乗っていた人をスロープで降ろしてくれていた駅員さん、それを見てスロープから降りるまで待っていた小学6年生位の男の子。あるバス停で間に合わなかったお客さんをドアをあけて乗せる運転手さん。そのような様子を温かい目で見守っている人達。あげれば様々ですが、今まで沢山の人との関わりの中でその場に合った臨機応変な対応を目のあたりにして来ました。私はその人達の行動に心を動かされました。名前も分からない偶然その場に居あわせながら行動には移せなかった人たちも、私と同じ様に心を動かされていればきっと次は自分がやろうと思えるはずです。このように私は誰かの人との関わりの中から温かい気遣いの輪を感じとりました。

人は訓練をしないと突発的な事には上手く対応できません。実際私もそうでした。でも相手に寄り添った言動に数多く触れていく事で、次は自分がと思い行動する。それを繰り返せば少しずつその輪が広がって行くと思います。これから私も何かあった時には勇気を出して行動してみます。私が行動する事で輪が少しずつ広がり、学生や大人にも伝わり、人が温まる輪が広まればいいなと思います。